

インフルエンザ

厚生労働省は4日、インフルエンザが流行シーズンに入ったと発表した。昨冬に比べ3週ほど遅く、ここ10年では2000 - 01年の冬に次ぎ、2番目に遅い流行入り。

同省などは、全国約5000の小児科と内科で毎週、流行状況を定点観測しているが、1月第3週の17 - 23日の調査で、定点当たりの患者報告数が2・81(報告数1万3198人)と、流行の目安となる1・0を上回り、第2週の約4倍に増えた。

1・0を超えたのは34都府県に上り、群馬(7・9)、三重(7・44)、埼玉(5・88)などが多い。

インフルエンザによるとみられる休校、学年閉鎖などは計158件で、昨年同期の1170件より少ないが、急増している。全国の幼稚園や小中学校での患者数は、昨年10月下旬からこれまでに1万6580人が報告され、うち欠席は9863人。

光触媒アークフラッシュの効果は、インフルエンザの予防に多大な役割を果たします。日本社会では効果をどこかの偉い先生が発表しないと見向きもしないという特徴があります。でも自分の健康を守るのは自分しかいない事も確かな事実ですね。

新幹線も全面禁煙? !!

新幹線車内でたばこの煙による粉じん濃度が法定基準を超え、受動喫煙防止を定めた健康増進法25条に違反していることが判明したとして、日本循環器学会、日本小児科学会など国内9学会合同で作る禁煙指導ガイドライン委員会は10日、JR各社に車両、駅ホームの全面禁煙を求める要望書を提出する。

要望するのは2学会のほか、日本公衆衛生学会、日本呼吸器学会、日本産科婦人科学会など。世界保健機関(WHO)が主導する「たばこ規制枠組み条約」が発効する27日までに回答するよう求めている。

ノロウイルス

院内感染が各地で後を絶たず、この冬は高齢者施設や病院でノロウイルスなどの感染性胃腸炎の集団発症が相次いでいることから、厚生労働省は2日までに、防止策を徹底させるよう全国の自治体に通知した。

院内感染防止を求めた1991年の旧厚生省通知を、最近の知見に基づいて更新した内容。患者や医療従事者が頻繁に触るドアノブやベッドさくなどを必要に応じてアルコール消毒することや、病院ごとに「院内感染対策委員会」を設置して組織的に感染防止に取り組むことなどを求めた。

一方で、消毒薬の散布や紫外線照射は効果が不確実で作業員も危険なため漫然と実施しないように求め、滅菌水による手洗いは効果がないとするなど、最近の知見内容も反映させている。

施工予定:ニューオオタニ(テイオーリネン) 2/11、京都グランビアホテル 2/23、
イセエビ料理 中納言 3/1～、早稲田八幡寿司 2/20

アークフラッシュ最新情報

トピックス

2月からアークフラッシュ本部に新社員が2名入社しました。森山 登さんと戸部 三千子さんです。宜しくお願いいたします。

